

基調講演



講師

片山 善博 かたやま よしひろ / 慶應義塾大学法学部教授

前総務大臣

1951年岡山県生まれ。74年東京大学法学部卒業、自治省に入省。能代税務署長、自治省国際交流企画官、同省固定資産税課長などを経て、99年鳥取県知事(2期)。2007年4月慶應義塾大学教授。10年9月から11年9月まで総務大臣。同月慶應義塾大学に復職し現在に至る。この間、地方制度調査会副会長、中央教育審議会委員、日弁連市民会議議長、行政刷新会議議員などを務める。主要著書に、『日本を診る』(岩波書店)、『市民社会と地方自治』(慶應義塾大学出版会)、『災害復興とそのミッション—復興と憲法』(クリエイツかもがわ、共著)、『地域間交流が外交を変える』(光文社、共著)などがある。

パネルディスカッション



コーディネーター

佐々木 信夫 ささきの のぶお / 中央大学経済学部教授

1948年生まれ。早稲田大学大学院政治学専攻科修了。東京都市勤務を経て89年聖学院大学教授、同年法学博士(慶應義塾大学)。94年から中央大学教授。2001年から中央大学大学院経済学研究科教授、同経済学部教授。現在、他に慶應義塾大学、日本大学各法学部講師、明治大学大学院講師、聖学院大学大学院客員教授。日本学術会議会員(政治学)、日本自治創造学会理事、東京MXテレビニュースのレギュラー解説者など兼任。専門は行政学、地方自治論。著書に『都知事』(中公新書)、『道州制』(ちくま新書)、『地方議員』(PHP新書)など多数。



パネリスト

江藤 俊昭 えとう としあき / 山梨学院大学法学部教授

1956年東京都生まれ。79年中央大学法学部卒業。86年、同大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得満期修了。博士(政治学)。専攻は地域政治論。三重県議会改革諮問会議会長、第29次地方制度調査会委員等を歴任。現在は北海道栗山町議会サポーター、マニフェスト大賞審査委員、全国町村議会議長会「今後の町村議会のあり方と自治制度に関する研究会」委員、第30次地方制度調査会委員等。地方議会に大変造詣が深く、主な著書(単著)に『地方議会改革—自治を深化させる新たな動き—』(学陽書房)、『図解 地方議会改革』(学陽書房)など多数。



パネリスト

金井 利之 かない としゆき / 東京大学公共政策大学院教授

1967年群馬県生まれ。東京大学法学部卒業。東京大学法学部助手、東京都立大学法学部助教授、東京大学大学院法学政治学研究科助教授を経て、2006年から現職。1994年から2年間オランダ国立ライデン大学社会科学部客員研究員。主な著書に、『自治制度』(東京大学出版会)、『分権改革の動態』(東京大学出版会、共編著)、『実践自治体行政学』(第一法規)、『ホーンブック 地方自治』(改訂版) (北樹出版、共著)など。



パネリスト

坪井 ゆづる つばいゆづる / 朝日新聞仙台総局長東北復興取材センター長

奈良市生まれ。1982年入社。長野支局、北海道勤務ののち政治部。AERA編集部などを経て、2003年から論説委員(内政、自治、分権担当)。07年から編集委員。11年から論説副主幹、12年から現職。朝日新聞ニッポン前へ委員会事務局長。主な連載は「ニッポン人派記 分権のあしたへ」『地域格差に挑む』など。日本自治学会理事・企画委員、分権型政策制度研究センター一参与。08年から10年まで、京都大学法学部客員教授。



パネリスト

寺井 克之 てらい かつゆき / 松山市議会議長

1955年松山市生まれ。亜細亜大学卒業。79年松山市役所入所。98年5月から松山市議会議員を務め、現在4期目。2011年7月に第94代松山市議会議長に就任。この間、副議長及び産業経済委員会、文教消防委員会、地域主権検討特別委員会の各委員長を歴任。地域主権時代に即した政策立案型議会の構築や、市民に開かれた議会を目指し、議会改革に全力で取り組む。

課題討議



コーディネーター

牛山 久仁彦 うしやま くにひこ / 明治大学政治経済学部教授

1961年長野県生まれ。84年中央大学法学部法律学科卒業。明治大学大学院、明治大学助教授などを経て、2006年より現職。日本行政学会理事、日本地方自治学会理事、全国町村議会議長会「今後の町村議会のあり方と自治制度に関する研究会」委員なども務める。主な著書に『現代地方自治の課題』(学陽書房、共著)、『分権時代の地方自治』(三省堂、編著)、『広域行政と自治体経営』(ぎょうせい、編著)など。



事例報告者

平田 武 ひらた たけし / 南相馬市議会議長

1948年生まれ。68年福島県立農業短期大学卒業。合併前の旧原町市議会議員を2期と務め、2006年から南相馬市議会議員を務める。現在3期目。文教常任委員会委員長、建設経済常任委員会委員、総務常任委員会委員、議会運営委員会委員長を務め、2010年12月より議長を務める。



事例報告者

渡邊 武 わたなべ たけし / 名取市議会前議長

1948年生まれ。96年から名取市議会議員を務める。現在5期目。監査委員、建設水道常任委員会委員長、議会運営副委員長、副議長を務め、2010年2月から2012年1月まで議長を務めた。この間に発生した東日本大震災を受け、議長として、震災による市民の復旧・復興を図るため、東日本復興調査特別委員会を設置することを提案し、対応をしていくことを取りまとめた。平成23年度には100条調査特別委員会委員長も務めた。



事例報告者

伊藤 明彦 いとう あきひこ / 陸前高田市議会議長

1954年岩手県陸前高田市生まれ。77年亜細亜大学卒業。80年から99年まで陸前高田市農業協同組合に勤務。99年4月から陸前高田市議会議員を務め、現在4期目。2011年8月に前議長の急逝により第18代議長に就任。同年9月に第19代議長に就任。この間、議会運営委員長、副議長及び東日本大震災復興対策特別委員長等を歴任。陸前高田市議会基本条例の制定にかかわる等、議会改革に取り組みながら、陸前高田市の復興に向けた議会運営に努めている。10年から11年まで陸前高田ライオンズクラブ会長。



コメンテーター

中邨 章 なかむらあきら / 明治大学名誉教授・日本自治体危機管理学会会長

1940年大阪生まれ。66年カリフォルニア大学バークレー校政治学卒業。73年南カリフォルニア大学大学院政治学博士課程卒業。政治学博士。カリフォルニア州立大学講師、カナダ・ピクトリア大学講師などを経て、83年から明治大学政治経済学部教授。2008年3月まで明治大学副学長・大学院長。11年から名誉教授。元国際連合行政専門委員会委員。現在、地方公務員安全衛生推進協会理事長、国際行政学会副会長、自治大学校特任教授、政策研究大学院大学客員教授、明治大学危機管理研究センター研究代表。著書に『自治体主権のシナリオ』(芦書房)など多数。